

## 対話イン近畿大学 (NEDE) 2017 のアンケート集計結果

事後アンケート集約：碓本岩男

参加学生 18 名中アンケート提出者 18 名 (学年：3 回生 13 名 1 回生 5 名)

(注) 以下の◎、○、△、×の記号は、アンケートの集計結果とその理由を対比させるために、集計結果の上から順に◎、○、△、×と便宜上分類したものであって、良い悪いとはまったく無関係な記号である。

### (1) 講演の内容は満足のいくものでしたか？その理由は？

とても満足した 14

ある程度満足した 4

やや不満だ 0

大いに不満だ 0

- 理由 ◎まだまだ知識が少ないので、こういった講演は勉強になりました。
- ◎研究会では、技術的な内容ばかりやっているので、メディアを通じた情報発信について良し悪しを知る機会になった。
- ◎原子力が不安に思われなくするための障害は思っている以上にとても厚いものだと分かったから。
- ◎新しい切り口で原発を考えることができた。
- ◎表や具体的な数字が載っていたから。自分で調べると情報が古くて、実際の数値と異なっていて、資料を探すことが困難なことがあるので。
- ◎多くの知らなかったことを知ることができたから。
- ◎日本が抱える課題を再確認でき、一般の方々の原子力に対する知識がどの程度あるのかについて知れた。
- ◎日本という国がわかった。
- ◎日本人の人柄など、分からない部分が分かった。
- ◎原子力発電について、国民がどのような意識を持っているのか、メディアがどのように報道しているかについて、説明してくれた。
- ◎知らなかったことは勿論、曖昧だった知識もはっきりとした。あまり行ってくれないことまで聞けたから。
- ◎現在の日本の電力の状況や原子力事業本部の状況を詳しく説明してくれたことに加え、大学の授業では聞けないことも教えて頂いていい知識が付きました。

- 普通では聞けない話を聞いて良かったです。
- 日本国民の「安全」に対する考え方が曖昧過ぎることを学べた。
- いくつか知らない知識があったから。

(2) 対話の内容は満足のものでしたか？その理由は？

とても満足した 10

ある程度満足した 7

やや不満だ 1

大いに不満 0

- 理由
- ◎僕らの何倍もの経験をしてきたシニアとの話は、自分がまだまだ勉強不足であることと、こんなに広く深い考え方があるのだと知らされました。
  - ◎自分とは違った考えを持った人達と議論できたから。
  - ◎情報発信について、研究会でも役立つ内容を議論できた。
  - ◎リスクの概念の大切さや放射線の基礎の理解が重要だと感じた。
  - ◎SNWの方から知らなかった話を聞くことができたから。
  - ◎他の人の考えを知ったり、自分の考えを深めることができたから。
  - ◎原子力に対して、国がどのように動いていくべきか、自分達に何ができるか、について様々な意見を聞いて良かった。
  - ◎いつもと異なった視点で議論ができた。
  - ◎考え方を議論するというのが新鮮であったから。
  - ◎周りの人の意見を聞いて、自分の考えをまとめることができたことが良かったです。また、講演に加えて、色々な知識を得られたことも良かったです。
  - 内容がとても濃く、色々なことについて話し合えた。特に、これから国民がどのようにしていけば良いのかという所では、深い議論ができた。
  - 考え方の一つが聞けたから。
  - 普通は話さない政治の話が聞いて良かった。
  - 政治のことや昔の話を聞いて良かったです。ですが、原子力について聞きたかったです。
  - 途中、話がずれてしまった事もあったが、自分の気になる点について聞けたから。

- もっと時間が欲しかった。
- 皆の考えていることをいろいろ聞けて良かった。
- △原子力を進めていくことについての議論はあったが、抱える問題についての議論が少なかった。

**(3) 事前に聞きたいと思っていたことは聞けましたか？**

十分聞くことができた 14

あまり聞けなかった 4

まったく聞けなかった 0

(理由) ○エネルギー関連の話はとても興味深かった。

○原子力に関して実際に働いていた方から、様々なことが聞けた。

△時間的にあまり聞けなかった。

**(4) 今回の対話で得られたことは何ですか？**

- ・ 興味のない人にどうやって考えてもらうかの方法。
- ・ テーマに沿った議論をして、班で1つのまとめられた意見にする能力と、エネルギーに関する深い知識。
- ・ 今の原子力の立場を再確認できた。
- ・ 原子力が信頼を取り戻すために必要なことが分かった。
- ・ 発電会社の苦勞、信頼回復の難しさ。
- ・ 今後の筋道ができた。
- ・ より知識を深めることができたこと。
- ・ マスメディアや政治の考えが知れてよかったです。
- ・ シニアの方々が若者に対して、どのようなこと、行動を願っているかについて知れた。
- ・ これからのことについて考えなければならぬと自覚できた。
- ・ 日本人のリスクについての考え方。
- ・ 論理的思考。
- ・ 実際に現場で働いていたから、貴重な話を聞けた。
- ・ メディアを変えるより、我々社会人が少しでも変わらなければならない。
- ・ 日本人とは元々どういう人が多いのかと聞いて、自分もそれに当てはま

と思いました。ただ、その性質の悪いところだけでなく良いところも認識することで、これからの自分の物事を考えるということへの認識をまとめることができた。

(5) 「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？その理由は？

非常にある 13      ややある 5

- 理由
- ◎普段学校では聞けないような話がたくさん聞ける。ニュースとかの情報報をしっかりと考えてみてみようと感じた。
  - ◎自分達学生では知り得ない話が聞くことができるため必要だと思います。
  - ◎熟練のシニアの方だからこそ教えてもらえる知識を授かる事ができたから。
  - ◎自分達より知識が多いし、現場を良く知っているから。
  - ◎世代で考え方が違ったり、学生とシニアでお互いに疑問あつたりするので、それを聞ける良い機会だった。
  - ◎学生では知らない実情や経験などを聞くことができるから。
  - ◎実際に調べても知ることができないことも知ることができるから。
  - ◎学生だけだと知識や経験が足りなく、感情的になり易いので、必要だと思う。
  - ◎知識を付けることは簡単にできるが、経験を知ることはなかなかできないから。
  - ◎同年代では議論に深みが出ないため必要だと思う。
  - ◎シニアは知識や経験が多く、説得力が桁違いなため。
  - ◎過去から今までを見てきた人々の意見を聞くことは学生にとって良い経験になると思います。
  - ◎原子力について、しっかり考える時間は少なく機調で、今後の研究会の活動の方針を決める一つになります。
  - ◎世代の離れた人達と話してみると物事の見方の違いを感じることで視野が広がるから。
  - ◎意識が高められる。一方で、根本的な回答にはならない。
  - ◎世代間の交流として、とても良かった。ニュースでは聞けないことが聞

けた。

(6) 今後、機会があれば再度シニアとの対話に参加したいと思いますか？

是非参加したい 6

参加したい 9

考えてみる 3

(7) 原子力に対するイメージに変化はありましたか？その理由は？

大いに变化した 0

多少变化した 6

あまり変化しなかった 8

まったく変化しなかった 4

理由 ○元より原子力事業本部の必要性を感じていたが、より強いものになった。

○元々、思っている以上に原子力が信頼回復するのは大変だと思ったから。

○テレビや新聞で出た情報と実際の話との間に予想以上のギャップがあったから。

○世界で見ると原発が増えているということを知った。

○事業者の役人の対応などが、よく考えるとあまり理解できなかった。

△以前から講演して頂いた内容と考え方が似ていた。

△同じような考え方を持っているから。

△2030年のベストミックスで原子力の必要性があります。その後、2030年以降、原子力が必要か、減らすか、増やすか議論したい。

△自分の既存の考えを述べただけだから。

△元々持っていたイメージをそのまま変わらずに意見をとりまとめたから。

×元々、原子力には関心があったから。

×事業者はちゃんとしているが、マスメディアが不安を煽る。

×原子力は必要だと言う裏付けとなった。

(8) 今回の対話を通し自分の将来性との関連性を見出すことができました

たか？その理由は？

見出せた 8

どちらともいえない 9

見いだせなかった 0

- 理由
- ◎今後も付き合っていく原子力についての考えが少し見えてきた。
  - ◎原子力関係の仕事に興味をわいたから。
  - ◎自分も電力関係に就職したいと考えている上で、エネルギー問題はこれから長く付き合っていくことだと思いました。
  - ◎将来の仕事の候補として原子力があるから。
  - ◎原子力やエネルギー関係で働いてみたいと思っていたから。
  - ◎より広い知識を入れることができ、広い視野を持てた。
  - ◎自分の就活に対して、どのように活動すれば良いか、また希望する業種の目安が見ついたから。
  - ◎エネルギーに関して、若い世代がこれから考えていくことだと知ったため。
  - 原子力の関係先に就職をするか迷っています。
  - これからどのようなことが起きるかわからないので、どちらとも言えない。
  - 私が興味のあるのは原子力が抱えている問題の解決への道であるが、これに関する議論はあまりできなかった。
  - 将来、原子力に関する仕事をするかが分からないから。
  - 自信の道が定かではない。
  - 興味のある事(エネルギー)と仕事としてやりたいことが違うから。
  - ×自分が将来したいことはもう決まっているため。

(9) この対話会に対する感想・意見などがあれば自由に書いてください。

- ・ 対話の方向性をしっかり決めずに進めていたので、話がまとまり難かった。
- ・ 来年度も対話会を開催するなら、知識の少ない新入生の割合が高くなります。事前資料の配布など、基礎知識の教育、授業を宜しく願います。

- ・マスメディアに対する考えには少し偏った意見を持っているようにも感じましたが、それ以外の所はおおむね賛同できる講義であったと思います。ありがとうございました。
- ・政府が動かない限り、現状から動くことは困難。否定的な考え方をメディアから植えつけられている人が多く、こちらからのアプローチにも身構えてしまって受け入れる姿勢が無い。
- ・すごく勉強になって良かったと思います。また機会があれば参加したいと思います。
- ・対話の中に休憩を入れてもいいかなと思いました。
- ・事前に議題を軽く告知して欲しい。その場では考えられないような議題もあったので。
- ・自分はエネルギー研究会を引退するので、これからは後輩に託すことになります。しかし、これからもこのような対話会をやってもらえると、良い経験ができると思います。本日はありがとうございました。これからもエネルギー研究会をよろしく願います。

### 【アンケート結果所感】

今回の対話会は、自主的にエネルギー研究会に入った学生が相手であり、エネルギー、原子力に関して興味を持っており、基本的な知識も身に付けている学生だった。このため、アンケート結果もこの傾向が表れており、質問（7）の原子力のイメージに対する質問の回答は顕著である。

また、この集計結果には表れていないが、設問によってA、B、Cグループで顕著に異なる結果もあった。

例えば、（5）の設問に対して、全員が対話の必要性は感じているものの、Cグループだけが、必要性を「非常にある」ではなく、「ややある」が多かった。（7）の原子力のイメージについての質問については、Bグループだけが「まったく変化しなかった」の回答が多かった。（9）の自由記載については、Aグループだけが記載した人が多かった。

以上